

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和7年6月20日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原管内を含む大崎管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病		疫学週			
		21 週	22 週	23 週	24 週
		5月19日 ~ 5月25日	5月26日 ~ 6月1日	6月2日 ~ 6月8日	6月9日 ~ 6月15日
急性呼吸器感染症(ARI)	急性呼吸器感染症(ARI)	724 144.80	731 146.20	658 131.60	655 131.00
	インフルエンザ *	1 0.20		1 0.20	1 0.20
	新型コロナウイルス感染症 *	5 1.00	1 0.20		2 0.40
小児科定点	RSウイルス感染症 *	1 0.33	4 0.33	9 3.00	2 0.67
	咽頭結膜熱 *	11 3.67	10 3.33	12 4.00	8 2.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	9 3.00	7 2.33	10 3.33	12 4.00
	感染性胃腸炎			2 0.67	1 0.33
	水痘				11 3.67
	手足口病	13 4.33	9 3.00	20 6.67	17 5.67
	伝染性紅斑	1 0.33	3 1.00	1 0.33	1 0.33
	突発性発しん				
	ヘルパンギーナ *				
	流行性耳下腺炎			1 0.33	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1 1.00			
	流行性角結膜炎				
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎			2 2.00	1 1.00
	無菌性髄膜炎		1 1.00		
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)			2	1
	川崎病		2	1	1
	不明発疹症		1		

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原管内の過去2週間における保健所対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			



感染症情報は
こちら



感染症予防啓発物品
の貸出しは こちら



性感染症検査の
申込みは こちら

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原管内

- 5類:百日咳 男3名 女3名
- 百日咳の県内の報告例は、5~14歳が約9割を占めています。咳症状がある場合は、咳エチケット等の感染対策を徹底し、咳が長引く場合は医療機関へ御相談ください。

【定点把握対象疾患の発生動向】

- ※栗原管内を含む大崎管内
- 伝染性紅斑は定点あたりの報告数が高い水準で継続しており、警戒が必要です。

【集団発生状況】※栗原管内

- 新たな集団発生はありません。

【感染症~劇症型溶血性レンサ球菌感染症~】

- 突然発症し、急激に進行する細菌の全身感染症(敗血症ショック)です。
- 毎年100~200人の患者が確認されており、近年増加傾向にあります。このうち約30%が死亡しており致死率が高いです。
- 主な病原体はA群溶血性レンサ球菌(溶連菌)であり、子供で急性咽頭炎や「猩紅熱(しょうこうねつ)」をきたす一般的な細菌です。
- 明確な基礎疾患を持たない子供から大人、特に30歳以上に多いのが特徴です。
- わずかな皮膚損傷(特に四肢)から侵入・感染しやすく、他には上気道感染、創傷や手術部位からの感染もありますが、感染経路は不明な場合が多いです。
- 初期症状は発熱や悪寒などの風邪様症状、四肢の疼痛や腫脹、創部の発赤などがみられます。急激かつ劇的に進行し、筋肉周辺組織の壊死を起こしたり、血圧低下や多臓器不全からショック状態に陥り、発病後数十時間で死に至ることもあります。
- 傷を清潔に保ち、創部の発赤や疼痛、腫脹、発熱など、感染の兆候が見られた場合には、直ちに医療機関を受診しましょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594